



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ナカヨ通信機

上場取引所 東

コード番号 6715 URL <http://www.nvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括本部長 (氏名) 加藤 英明 TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,806	0.8	442	△42.0	512	△39.0	319	△37.6
25年3月期第3四半期	12,699	9.5	762	△2.7	839	0.5	511	△30.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 395百万円 (△37.3%) 25年3月期第3四半期 631百万円 (△5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.50	—
25年3月期第3四半期	23.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,551	15,567	72.1
25年3月期	21,109	15,350	72.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 15,546百万円 25年3月期 15,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	9.2	1,150	7.5	1,200	3.7	850	4.6	38.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,974,816 株	25年3月期	23,974,816 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,960,620 株	25年3月期	1,954,813 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	22,017,690 株	25年3月期3Q	22,022,608 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスや東京オリンピックへの期待感などから円安株高が進行し、大企業を中心とした業績の改善やデフレからの脱却感も感じられ、景気回復への期待感が高まりました。また、TPPへの参加に、貿易拡大への期待感がある一方で、円安に伴う輸入価格や電力料金の値上げと、4月の消費税増税による景気への影響が懸念されます。海外の状況につきましては、米国では、経済は緩やかな回復基調にあり金融の量的緩和の縮小も実施されました。欧州では金融不安の解消が進み、景気の底入れ感もあり、個人消費は緩やかに回復しています。一方、中国をはじめとする新興国では、経済発展が期待されるものの、輸出の伸び悩みや過剰投資抑制、資金流出懸念などから足元の成長率に陰りが見られ、さらには緊張が続く中東情勢もあり、景気の先行に不透明感が残っております。

当情報通信業界におきましては、技術革新が目覚ましく、サービスの多様化、高度化も進み、経済成長の牽引力として期待されています。スマートフォンやタブレットの急激な普及、クラウドサービスの拡大、フェイスブック等SNSの普及により音声からデータ、映像へと通信の主軸の転換などが見られます。また、ICTを利用した新たなビジネスモデルも創出され、機器、センサー等を対象としたM2M(Machine to Machine)やビッグデータの市場拡大が進み、O2O(Online to Offline)など新たなサービス分野が展開され期待を集めております。

このような状況下で、当社グループは、平成25年4月からスタートした「第二次中期経営計画」において「事業規模の拡大」と「経営体質の強化」に取り組んでまいりました。

「事業規模の拡大」につきましては、お客様のニーズを反映した高付加価値製品の開発、販売及び新規マーケットの開拓を目指し、アンドロイド搭載タブレット(GRANYC)を核としたアプリケーション開発や、システムインテグレーション事業を推進するとともに、工場のリソースを活かしたEMS事業を展開しております。また、新製品として平成25年6月に発売を開始した主力製品であるビジネスホン(NYC-iFシリーズ)では、使いやすく工夫されたボタン構成、ハンドセットの質感、使用環境への配慮と調和が評価され、2013年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。また、今後のEMS事業の販路拡大と事業領域の拡大のために、医療機器製造業(一般)許可を取得いたしました。

「経営体質の強化」につきましては、継続的な原価低減と間接コストの削減を進める一方、業務プロセスの改善による合理化・スリム化も図っております。この一環として、平成25年11月に渋谷、世田谷、神田に点在していた各グループ会社の事業所を一拠点に集約いたしました。

今後も第二次中期経営計画の達成に向け、既存の製品群を始め、非電話機系機器・非ICT系機器等の新商品開拓やサービス事業の展開など新規事業の開拓を進め、生産性の向上並びに更なるトータルコストダウンを図るなど多面的な経営活動を推し進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高12,806百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面では、新製品の生産・販売による初期費用の増加や各グループ会社の事業所集約コスト等の要因により、営業利益442百万円(前年同期比42.0%減)、経常利益512百万円(前年同期比39.0%減)、四半期純利益319百万円(前年同期比37.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ441百万円増加し、21,551百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ692百万円減少し、13,909百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加279百万円、仕掛品の増加179百万円があったものの、現金及び預金の減少818百万円、受取手形及び売掛金の減少667百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,134百万円増加し、7,642百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加690百万円、無形固定資産の増加301百万円、投資有価証券の増加111百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ224百万円増加し、5,984百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、4,949百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少249百万円、賞与引当金の減少192百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加207百万円、設備関係支払手形の増加463百万円があったこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、1,035百万円となりました。これは主に、リース債務の減少45百万円があったものの、繰延税金負債の増加61百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、15,567百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加143百万円、その他有価証券評価差額金の増加75百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高及び利益については、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,901	5,083
受取手形及び売掛金	5,429	4,761
有価証券	1,419	1,419
商品及び製品	406	685
仕掛品	459	638
原材料及び貯蔵品	689	776
その他	302	549
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	14,602	13,909
固定資産		
有形固定資産	2,321	3,012
無形固定資産	851	1,152
投資その他の資産		
投資有価証券	2,058	2,169
その他	1,276	1,327
貸倒引当金	△0	△20
投資その他の資産合計	3,334	3,477
固定資産合計	6,507	7,642
資産合計	21,109	21,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868	3,076
短期借入金	40	40
未払法人税等	257	8
製品保証引当金	122	128
賞与引当金	283	90
その他	1,184	1,605
流動負債合計	4,756	4,949
固定負債		
退職給付引当金	53	51
その他	948	983
固定負債合計	1,002	1,035
負債合計	5,759	5,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,514	4,514
利益剰余金	5,780	5,923
自己株式	△409	△411
株主資本合計	14,794	14,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	611
その他の包括利益累計額合計	536	611
少数株主持分	20	20
純資産合計	15,350	15,567
負債純資産合計	21,109	21,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,699	12,806
売上原価	9,890	10,114
売上総利益	2,809	2,691
販売費及び一般管理費	2,047	2,249
営業利益	762	442
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	34	37
負ののれん償却額	17	—
受取保険金	—	29
その他	33	17
営業外収益合計	88	88
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	4	8
固定資産廃棄損	2	4
その他	2	2
営業外費用合計	11	17
経常利益	839	512
特別利益		
投資有価証券売却益	1	70
特別利益合計	1	70
特別損失		
固定資産廃棄損	47	—
減損損失	17	—
投資有価証券評価損	12	—
事務所移転費用	—	43
その他	—	2
特別損失合計	76	45
税金等調整前四半期純利益	764	537
法人税、住民税及び事業税	179	84
法人税等調整額	71	132
法人税等合計	251	216
少数株主損益調整前四半期純利益	513	320
少数株主利益	1	1
四半期純利益	511	319

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	513	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	75
その他の包括利益合計	117	75
四半期包括利益	631	395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629	394
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは通信機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。